健康ぷらざ

No.290　　企画:日本医師会

「はしか」とあなどってはいけません。
――麻（ま）しんには予防接種を

「はしか」は、子どもの軽い病気と思うかもしれません。しかし、はしか＝麻しんは重症の感染症です。

39℃前後の高熱が7～10日ほど続き、肺炎や脳炎を合併することがあります。

重い後遺症が残ったり、時には命にかかわることもあります。

麻しんウイルスそのものに効く薬はないため、今のところ有効な治療法がありません。

感染力はインフルエンザの何倍も強く、免疫が不十分だと、患者さんと同じ部屋に一緒にいるだけでうつってしまいます。

2000年に大阪で流行した時の調査では、入院率は平均40％、思春期以降の患者さんでは70％を超えました。

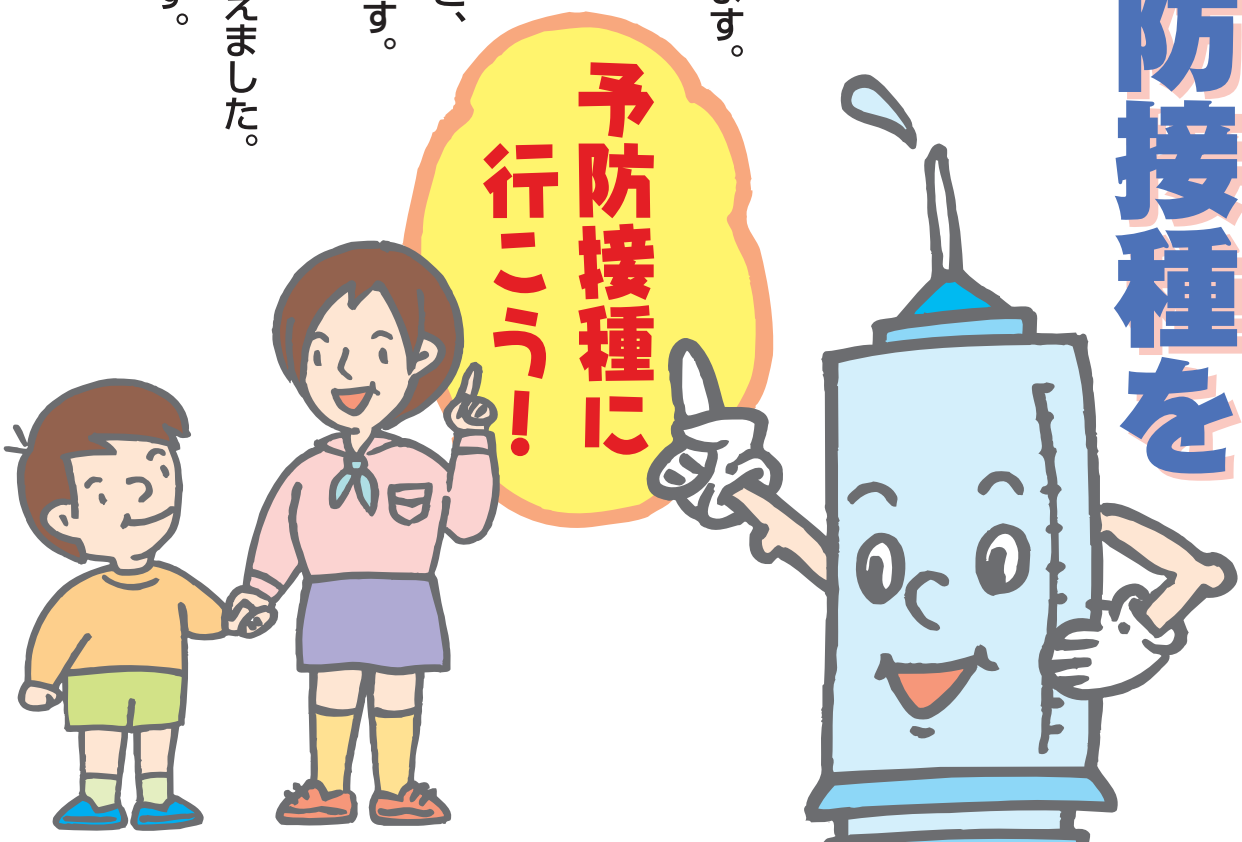
予防法はただ1つ、予防接種で免疫をつけておくことです。

確実な予防のために、1回接種から2回接種になり、中学1年生、高校3年生になると定期接種が無料*で受けられるようになりました（表）。

もちろん、その他の年齢でもワクチンは受けられますが、1万円前後の費用がかかります。

せっかくのチャンスです。ぜひ予防接種を受けましょう。

＊一部の市町村では自己負担が必要です。



2009年度　麻しん・風しんワクチン定期予防接種対象者

第一期	生後12ヵ月以上24ヵ月未満	
第二期	2003/4/2～2004/4/1生まれ	小学校入学前1年間の幼児（2009年度内に6歳）
第三期	1996/4/2～1997/4/1生まれ	中学1年生（2009年度内に13歳）
第四期	1991/4/2～1992/4/1生まれ	高校3年生（2009年度内に18歳）

＊第三，四期については2013/3/31までの時限措置

指導：国立感染症研究所感染症情報センター第三室長　多屋　馨子

◆待合室等に掲示し、患者さんにお見せください。